



2017年2月21日

株式会社スカパーJSATホールディングス

ハイ・スループット衛星事業への本格参入について

株式会社スカパーJSATホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 真治）の100%子会社であるスカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治）は、本日添付の通りハイ・スループット衛星事業への本格参入について発表しましたので、お知らせします。

以上



スカパーJSAT 株式会社

ハイ・スループット衛星事業への本格参入について

スカパーJSAT 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田 真治、以下スカパーJSAT)は、Boeing Satellite Systems Internationals Inc. 社(本社:アメリカ合衆国、President Mark Spiwak)との間で、ハイ・スループット・システムを採用した通信衛星 (High Throughput Satellite、以下 HTS) の調達契約を締結しましたのでお知らせいたします。

スカパーJSAT が調達契約を締結した通信衛星「JCSAT-18」は、HTS を採用しております。HTS は従来型衛星に比べて通信容量を増大させることが可能であり、現在供給不足の状態が続いている、モバイルやブロードバンド等の市場からの通信需要に対応してまいります。またスカパーJSAT は、宇宙・衛星事業の基盤市場であるアジア太平洋地域でのサービス拡大を目指しており、JCSAT-18 はアジア太平洋から極東ロシアにかけての広範囲なエリアにおけるサービスの提供が可能です。JCSAT-18 は、2018年下期に打ち上げを予定している通信衛星「Horizons 3e」に続きスカパーJSAT として2機目の HTS となる予定です。

今後の IoT ビジネスの活況化を背景に、スカパーJSAT は宇宙・衛星事業のパイオニアとして、世界的に成長を遂げる可能性のあるモバイルやブロードバンド分野におけるビジネスに本格的に取り組んでまいります。

JCSAT-18 概要

衛星バス	Boeing 702
衛星の主要諸元	周波数帯域: Ku、Ka バンド 主要カバレッジ: アジア太平洋 打ち上げ時期: 2019年下期 寿命: 15年以上

※ HTS : 隣り合う複数のスポットビームにおいて異なる周波数を用いることで有限な周波数リソースの再利用を可能とし、従来型衛星に比べて通信容量を増大させるシステムを採用した通信衛星。

※ 当衛星は、Kacific Broadband Satellites Pte, Ltd 社(本社:シンガポール、CEO Christian Patouraux)との共同衛星であり、当衛星の一部の通信ミッションを同社が区分所有することとなります。

以上